

IT人材育成×女性就労支援 MAITSURUプロジェクト【群馬県】

個別事業費	16,000 千円
交付金額	12,000 千円

地域の実情と課題

- ・群馬県では女性の有業率が全国平均と比べて高い一方、女性の正規職員・従業員の割合は全国平均を下回り、非正規雇用で働く女性が多い(H29就業構造基本調査)
 - ・女性の1時間平均賃金について、男性・全国平均を下回る(R3賃金構造基本統計調査)。
- ⇒雇用形態の正規雇用へのシフトや、賃金の高い高付加価値型の産業分野への労働移動が課題。

事業の特徴

- ・人材不足が見込まれるため就職につながりやすく、高賃金であるIT分野で、専門人材としての就職に必要な知識やスキルの習得を目指した講座を民間企業への委託により実施。
- PC初心者向けには関連講座として、Excel講座(デジ田交付金を活用)を実施した。
- ・講座だけでなく、IT企業との交流機会を開催。県実施の他事業等とも連携し、求職企業の発掘やマッチング等、身につけた知識を生かせる就労までを支援する。

事業の効果

- ・開催後のアンケートでは回答者の8割が事業に「満足」「やや満足」と回答。「独学では難しかったことが学べて有意義でした」などの感想を得られた。

【成果】

受講者数:94人

企業との交流会出席者:21人

新規就労者数:12人(R6年3月19日時点)

目的・目標

- ・約80時間のオンラインと対面を組み合わせた講座により、「フロントエンドエンジニア」を育成。

【目標値】

・プログラム受講者数:60人

・就労者数:30人

連携団体

- ・ジョブカフェぐんま、他女性就労支援事業実施団体(太田市、ハローワークマザーズコーナー等)、社会福祉協議会、ぐんま男女共同参画センター、女性相談センター、女性団体、各子育て支援団体

今後の課題

- ・それぞれが求める働き方をより実現できるよう、企業への就職だけでなく、フリーランスや個人事業主等としても活躍できるスキル習得機会の提供や就労支援を令和6年度事業では実施していきたい。

事業の概要

「女性の就労問題」

- ・男性や全国平均に比べ、正規職員・従業員が少なく、賃金が低い傾向(出典:就業構造基本調査、賃金構造基本統計調査)
- ・育児等による働き方の制約

「IT人材の不足」

- ・デジタル人材の必要性を感じている県内企業は半数以上(57.7%)
(出典:経営環境の変化による影響調査(R4.8群馬県産経部調査))

賃金・人材需要の比較的高いIT人材分野での女性の人材育成・就労を支援

就職に向け一体的に支援

企業ニーズ把握・求人発掘 (県・ジョブカフェ等)

- 企業ニーズの把握
- 企業訪問による求人案件・アウトソーシングの発掘
- 企業開拓・情報収集(委託事業者)

人材育成：R5年度実施講座 (専門の人材育成事業者)

在宅・短時間など柔軟に働きたい方向けIT人材育成 (デジ田交付金)

○Excel講座(受講者55名)

- ・PC操作に不慣れな方でもITを活用できるスキルの取得を学ぶ講座を実施

関連講座

専門知識を身につけ正規雇用やキャリアアップを目指す方向けIT人材育成

○フロントエンドエンジニア育成講座(9月～12月)

- ・受講者：39名
- ・基本オンラインでの実施、重要回を対面実施
- ・復習用として録画配信も実施
- ・受講料20,000円(PC・ルーター貸出は別途費用)

就労支援 (県・ジョブカフェ等)

- 受講者と県内企業との交流会(マッチング)【2月】

- ジョブカフェ等と連携した就労支援

成果

就労者数12人
(うち、フロントエンドエンジニア講座受講者6人)

- 成果報告会の開催【3月】
- ・事業実績の成果報告
- ・IT分野で活躍する県内女性の事例発表



フロントエンドエンジニア育成講座

